



## 消防防災分野の国際協力について

### 参事官付

開発途上国では、経済発展・都市化が進む中、これまで以上に高度な消防防災体制の構築が必要とされています。これに伴い、我が国の消防防災の知見、技術等を学び、取り入れたいという諸外国からのニーズも拡大しています。

消防庁では、このようなニーズに対応するため、消防本部、外務省、独立行政法人国際協力機構（JICA）等と連携・協力をしつつ、消防防災分野の国際協力を積極的に実施しています。以下、消防庁が行っている主な国際協力事業を紹介します。

#### 【国際消防防災フォーラム】

アジア圏内の国を主な対象として、平成19年度から「国際消防防災フォーラム」を開催しています。これは、我が国の消防技術、制度等を広く紹介し、開催国の消防防災能力の向上を図ることを目指すものです。平成30年度は、フィリピンで開催し、同国の内務自治省消防局や地方自治体の危機管理部局の職員等に対し、我が国の消防団制度や予防行政、消防用機器の規格・認証制度、消防機関によるCBRNE（化学（Chemical）、生物（Biological）、放射性物質（Radiological）、核（Nuclear）、爆発物（Explosive）の頭文字をつなげた略語）対応等を紹介しました。

また、本フォーラムを消防防災インフラシステムの海外展開を推進する場としても活用すべく、日本企業による消防用機器等の紹介や展示の場を設けました。会場に

は、同国の消防防災関係者が多数集い、日本企業からの製品説明に熱心に聞き入っていました。

令和元年度は、本フォーラムをタイで開催する予定です。

#### 【開発途上国等への技術協力】

JICAと連携し、諸外国の消防士等を対象に消防本部の協力の下で課題別研修及び国別研修等を行っています。研修員は、数週間から数ヶ月にわたって、日本の消防防災に関する知識や技術を身につけ、自国の消防防災能力の向上に役立てています。

##### ・課題別研修

課題別研修として、昭和62年度から「救急救助技術」研修、昭和63年度から「消防・防災」研修（平成25



国際消防防災フォーラムを活用し日本企業の製品を紹介  
（平成30年11月フィリピン）



国際消防防災フォーラム（平成30年11月フィリピン）



救急救助技術研修（大阪市消防局提供）



消防・防災研修（北九州市消防局提供）

年度までは「消火技術」研修として実施）を実施しています。

「救急救助技術」研修は大阪市消防局において実施しており、これまでに73か国291名の研修員を受け入れています。また、「消防・防災」研修は北九州市消防局において実施しており、これまでに84か国283名の研修員を受け入れています。それぞれの研修では、規律訓練、訓練礼式等の基礎訓練から、実災害を想定した消火訓練や救助訓練まで幅広い分野の訓練を約2か月間、実施しています。

・国別研修等

開発途上国からの個別の要請に基づき実施する国別研修では、これまでベトナム（平成21年度～平成23年度）、中国（平成21年度～平成24年度）、イラン（平成24年度～平成26年度）などの国々へ研修を実施してきました。近年では、平成26年度から平成29年度までマレーシアに対して、「消防行政能力向上プロジェクト」を実施しています。

【海外の消防防災関係者への情報提供等】

隣国である韓国の消防機関と相互理解を図り、連携・協力を推進することを目的として「日韓消防行政セミナー」を開催しています。平成30年度は、11月に韓国セジョン市において、大規模な火災や災害対応について情報交換が行われました。

また、各国大使館、JICA、外務省等の協力依頼に基づき、諸外国からの消防防災、危機管理分野等の関係者の訪問を受け入れ、それぞれの要望に応じた情報提供、関連施設の視察等を実施しています。平成30年度は、フランスやチリの消防防災関係者に対して、日本の消防防災制度等をレクチャーしました。

【国際緊急援助活動】

国際消防救助隊（IRT）は、海外で大規模災害が発生した際、被災国からの要請に応じ派遣される国際緊急援助隊の一員であり、派遣実績は、昭和61年の発足以来、21回を数えます。

消防庁では、今後の派遣に備えるため、国際緊急援助隊の一員となりうる消防本部の救助隊員を対象として、捜索救助に関する国際的なガイドラインや技術に関する研修を実施しており、海外被災地での救助活動において求められる知識、技術（手法）及びチームビルディング（連携）の向上を図っています。

なお、我が国の国際緊急援助隊救助チームは、平成22年3月に国際捜索救助諮問グループ（INSARAG）による能力評価において、最高分類である「Heavy（ヘビー）」の評価を受けました。その後、平成27年3月に更新評価を受検し、再び「Heavy（ヘビー）」の評価を受けており、派遣時の一層の活躍が期待されています。

国際協力を積極的かつ継続的に実施するためには、消防本部をはじめ、関係機関との連携が不可欠です。関係者の皆様には、消防防災分野における国際協力へのご理解とご協力を引き続きお願いいたします。



メキシコにおける捜索救助活動（平成29年9月JICA提供）

問い合わせ先

消防庁参事官 手島、村田、田村  
TEL: 03-5253-7507